

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2017年度(公財)日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習について

(1)「15. 練習場の使用について」にもとづき練習ができる。

(2)本競技場での練習可能時間は次のとおりとする。

27日(金) 13時～17時(トラック・跳躍のみ)

28日(土) 7時30分～9時30分(トラックのみ)

29日(日) 7時30分～9時(トラックのみ)

3. 招集について

(1)招集場所は、メインスタンドゴール側第1ゲート前の招集室に設置する。

(2)招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。

(3)携帯電話等、通信機器は競技場内に持ち込むことはできない。

(4)招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係(招集所)に申し出ること。

(5)招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。

(6)出場する種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに競技者係(招集所)まで申し出ること。

招集時間

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	全ての種目	20分前	10分前
フィールド競技	走高跳 走幅跳 三段跳	40分前	30分前
	棒高跳	70分前	60分前
	投てき	50分前	40分前

4. ナンバーカードについて

(1)ユニフォームの胸、背に確実につける。跳躍競技は胸または背につけるだけでよい。

(2)トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の「腰ナンバーカード」をつけること。

ランニングパンツの左右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。

リレーは第4走者がつけること。

5. 競技場への入退場について

(1)入場は、全て招集所より係の誘導により行なう。

(2)退場は、下記による。

トラック競技 フィニッシュ地点退場口からメインスタンド内中央通路を通り退場のこと。

※ただし、決勝において1～8位の入賞者は係によって表彰控え席に誘導する。

フィールド競技 競技役員の指示・誘導による。

※1～8位の入賞者は競技終了後、フィールド審判員によって表彰控え席に誘導する。

6. レーン順・試技順について

(1)トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。

(2)決勝の組み合わせ及びレーンは招集所及びメインスタンド正面階段上の掲示板に掲示する。

7. トラック競技の次のラウンド進出の決定について

(1)タイムにより次のラウンドに進む出場者の決定について同記録があり、レーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して、1/1000秒を判定して出場者を定める。それでも決められない時は抽選する。

(2)決勝進出者の発表は、アナウンス・大型映像及び招集所掲示板、メインスタンドの掲示板で行なう。

8. 競技について

(1)トラック競技

- ①すべて写真判定装置を使用する。
- ②レーンで行なう競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。

(2)フィールド競技

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ②投てき競技(砲丸投を除く)の計測は、光波測定器を使用する。
- ③跳躍・投てき(やり投)競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
- ④三段跳の踏切板は、男子12m、女子10mで行う。
- ⑤すべての有効試技を計測する。
- ⑥棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出る。
その後位置を変更したい場合も、担当審判員に申し出る。
- ⑦走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りである。

(ただし、天候等の状況により審判長の判断で変更することがある。)

	練習 A	練習 B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m70	1m85	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	以後 3cm
男子棒高跳	3m60	4m20	3m80	4m00	4m20	4m30	4m40	4m50	以後 10cm
女子走高跳	1m40	1m55	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	以後 3cm
女子棒高跳	2m20,2m60,3m00		2m20	2m40	2m60	2m80	2m90	3m00	以後 10 cm

※練習は A,B のいずれか希望する高さで行なう。

※第1位決定のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

(3)リレー競技について

- ①リレー競技に出場するチームは、「リレーオーダー用紙」を招集完了時刻の60分前までにTICへ提出すること。
決勝においては変更ある場合のみ、変更届を提出のこと。用紙は招集所にも用意する。
- ②マーカーは主催者の用意するものを使用すること。

9. 抗議について

- (1)競技中に起きた競技者の行為、順位に関する抗議は、結果の正式発表後、30分以内(次のラウンドが行われる種目では15分以内)に当該競技者の顧問が口頭で審判長に申し出ること。
- (2)審判長の裁定に不服な場合は、上訴審判員に預託金10,000円を添えて文書で上告する。この預託金は、抗議が却下された場合は、返却しない。「上訴申立書」は担当総務員席(本部席)に準備する。

10. 助力について

- (1)競技者は、勝手に競技場所を離れてはならない。
- (2)ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは、類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。

11. 競技用具について

- (1)競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
ただし、棒高跳用ボールは、個人所有のものを使用できる。検査は跳躍審判員が行う。
- (2)やりについては、個人所有のものを検査を受けて使用することができる。検査は競技開始1時間30分～1時間前の間に検査を受け、一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。
(検査場は、フィニッシュ地点付近の南器具庫とする。)

12. 競技用靴について

スパイクのピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とし、スパイクの先端の直径はすべて4mm以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

13. 表彰について

表彰は1～8位入賞者に対して行なうので競技終了後、競技役員の誘導で表彰控え席に集合のこと。

14. 競技場の使用について

- (1)開門時間は午前7時である。それ以前には立ち入らないこと。
- (2)タープテント等の簡易テントの使用は、バックスタンドのみとする。(芝生スタンドは禁止する)
- (3)横断幕は芝生スタンド上部、バックスタンド上部のみ可能とする。
- (4)競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各自で責任をもって持ち帰る。
- (5)更衣室は、衣服の更衣のみに使用し、団体のベンチとして使用しない。
- (6)選手の移動は、スタンドを使用する。
- (7)防水塗装保護のため、2階通路上へベンチを設置する場合、ブロック(石等も含む)、粘着テープ等の使用を厳禁する。

15. 練習場の使用について

- (1)補助競技場の使用は次の注意を守り競技役員の指示に従うこと。
 - ジョッグ及びウォーキングは、トラック内側のオールウェザー一部分を使用し、走路を使用しない。
フィールド内芝生部分は立入禁止とする。
 - 内側の1・2レーンは、長距離のペース走専用とする。
 - 内側の3～6レーンは、流し等の専用とする。
 - 外側の7・8レーンはハードル専用とする。
 - 跳躍種目の練習は所定のピットで行う。
 - 投てき種目の練習は禁止する。
 - 走路及びピットに立ち止まるとの指導等をしない。
 - 走路は左回りとし、逆走は禁止する。
 - 直走路の横断は事故防止の為、禁止する。(曲走路より注意して横断のこと)
 - その他、審判員の指示に従う。
- (2)雨天練習場の使用は下記の注意を守り、競技役員の指示に従うこと。
 - スタンド側の1レーンは、流し専用とする。
 - 内側の2レーンは、高速専用とする。
 - 外側の1レーンはジョグ専用とする。
 - スターティングブロックの設置は禁止する。
 - 走路の横断は禁止する。スタンド及びサブトラックへの移動は、走路に沿って移動し、招集所及び第2ゲート付近から横断をする。
 - 全天候舗装部分をチームのベンチにすることを禁止する

16. その他

- (1)氏名・所属・フリガナ等の間違い、訂正があれば、受付・プログラム受領後、TICに申し出ること。
- (2)貴重品類は各自で保管すること。万一の事故があっても責任は負わない。
- (3)応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置を受けること。
応急処置後の責任は負わない。
- (4)競技場に商品名のついた衣類、バックを持ち込む場合は以下の規定を守ること。
 - ①上半身の衣類・・・面積30cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体はでは5cm以内とする。
表示は1ヶ所とする。
 - ②下半身の衣類・・・面積20cm²以内、文字は縦4cm以内(ロゴを含む)のもの1ヶ所とする。
 - ③バック・・・面積25cm²以内で2ヶ所(同一のものでなければならない)
 - ④競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。
- (5)カメラ、ビデオ等の撮影は、出場の団体・学校と選手の家族を除き、必ず受付で申請をすること。
撮影許可区域は申請時に指示する。
著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、速やかに警察に連絡いたします。
- (6)棒高跳用ボールの返送希望者は競技場事務所受付にて手続きをすること。
両日とも16時まで受付ける。
- (7)大会運営に支障をきたすような応援は慎むこと。
- (8)使用した場所の清掃は、各学校で責任を持って行い、環境美化に努めること。
- (9)参加申込書に記載の個人情報は、参加受付・プログラム作成等の本大会の運営、成績の報道発表及びホームページに使用する。又、大会出場中における映像・写真・記録等への記載権は主催者に属する。

17. トレーナーステーションについて

今大会は、競技場役員出入口内右にトレーナーステーションを開設しますが、下記条件での活動になります。・応急処置は医務室へ搬送するまでの簡単な処置で、医学的な処置は行わない。
・故障部位に対する、テーピング(持参して下さい)、アイシング、マッサージ等簡単な理学療法を中心とした処置を行う。・コンディショニング調整を目的としたマッサージ、ストレッチング等は行わない。